

学術情報処理研究誌用 L^AT_EX テンプレート

A sample of 'Journal for Academic Computing and Networking'

佐賀大学 総合情報基盤センター

Computer and Network Center, Saga University

840-8502 佐賀県 佐賀市 本庄町 本庄 1 番地

1 Honjo, Honjo-machi, Saga-shi, Saga-ken 840-8502, Japan

これは、学術情報処理研究集会用論文のテンプレートです。L^AT_EX を用いて論文を執筆される際の参考になれば幸いです。

キーワード：学術情報処理研究集会, テンプレート

This is a L^AT_EX template of 'the meeting of Academic Computing and Networking'. We are glad if this template helps you to write your article.

KEYWORDS : Meeting of Academic Computing and Networking, template article

1 はじめに

研究会に論文を投稿する際、研究会としての一定の書式がないことで論文誌全体の統一感に支障が生じることがあります。そこで、学術情報処理研究集会に L^AT_EX 形式の論文の投稿される場合のテンプレートを示します。

ここで想定している L^AT_EX は従来の L^AT_EX ではなく、現行の L^AT_EX 2_ε です。そのため、L^AT_EX 2_ε のコマンドと L^AT_EX のコマンドとの間で互換性がない場合があります。

なお、本文執筆に際し、奥村晴彦氏の書籍 [1]、情報処理学会における投稿論文の L^AT_EX スタイルファイル [2] を参考にしました。

2 基本書式

用紙の書式は、a4j の 2 段組で横書きです (`\documentclass[a4j,twocolumn]{jsarticle}`)。ページ番号は割り振りません (`\pagestyle{empty}`)。図を挿入できるように、`graphicx` パッケージを使います (`\usepackage[dvips]{graphicx}`)。アブストラクトについては、その表題である 'Abstract' が出力させないように `\renewcommand{\abstractname}{}{}` で出力をなくします。

タイトルは、`\title{}` の中に和文及び英文を記述し、和文と英文は改行 `\\` で行を変えます。

著者名、所属、住所は、`\author{}` の中に和文及び英文を記述します。それぞれ和文と英文を交互に記述します。著者のメールアドレスは、著者名の和文表記の所に `\thanks{}` で記述します。この際、電子メールアドレスであることが分かるように、E-mail: を先頭に付けます。

日付は不要ですので、これを無効にするために `\date{}` を記述します。

本文は `\begin{document}` と `\end{document}` の間に記述します。

タイトルページを作るために、`\titlepage\maketitle` を記述します。

アブストラクト及びキーワードは、`\begin{abstract}` と `\end{abstract}` の間に和文及び英文で記述します。記述の順番は、和文アブストラクト、和文キーワード、英文アブストラクト、英文キーワードの順です。アブストラクトとキーワードの間は改行で分け、和文と英文との間は空行を分けます。キーワードについては、それがキーワードであると分かるように、先頭はボールド体で 'キーワード' 及び 'KEYWORDS' を記述し、これらの次に ':' を記述します。その後実際のキーワードを記述します。キーワードが複数個ある場合は、キーワード間に半角文字のカンマ及び半角スペースを記述します。

これらをまとめると、基本書式は以下のようになります。

```
\documentclass[a4j,twocolumn]{jsarticle}

\pagestyle{empty}
\usepackage[dvips]{graphicx}
\renewcommand{\abstractname}{}

\title{和文タイトル\\
英文タイトル}

\author{
和文著者名\thanks{E-mail: 著者の電子メールアドレス} \\
英文著者名 \\
和文所属名 \\
英文所属名 \\
和文住所 \\
英文住所 \\
}

\date{}

\begin{document}
\titlepage\maketitle

\begin{abstract}
和文アブストラクト
```

```
\textbf{キーワード} : 和文キーワード 1, 和文
キーワード 2, ...
\\
```

英文アブストラクト

```
\textbf{KEYWORDS} : 英文キーワード 1, 英文
キーワード 2, ...
\end{abstract}
\end{titlepage}

\begin{document}

\end{document}
```

3 執筆上の注意

基本的には、 $\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ のコマンドを駆使して執筆すれば良いのですが、いくつか注意点がありますので、ここではそれだけを述べます。 $\text{\LaTeX 2}_{\epsilon}$ のコマンドは、関連書籍やネットをご覧ください。

3.1 句読点及び英数字

和文で執筆する場合、句点は全角ピリオド ‘.’ で、読点は全角カンマ ‘,’ です。

- 句点: ‘.’ → ‘.’
- 読点: ‘,’ → ‘,’

英数字及び空白は半角です。

- 英字: ‘T h i s’ → ‘This’
- 数字: ‘1 2 3’ → ‘123’

3.2 図の挿入

図を挿入したい場合、用いる図の形式は EPS です。figure 環境を用いて以下のようにします。

```
\begin{figure}[tbh]
\begin{center}
\resizebox{0.5\textwidth}{!}
{\includegraphics[keepaspectratio,clip]{EPS
ファイル名}}
```

```
\end{center}
\caption{図の説明}
\label{ラベル}
\end{figure}
```

図の大きさは `\resizebox` 中の数字で変更できます。このサンプルでは、図の大きさは元の 0.5 倍で記述していますが、適宜変更して下さい。実際には図 1 のようになります。

サンプル図

図 1 2 段組の図

もし、1 段組で図を挿入したい場合は、figure* 環境を用いて以下のようにします。

```
\begin{figure*}[tbh]
\begin{center}
\resizebox{1.0\textwidth}{!}
{\includegraphics[keepaspectratio,clip]{EPS
ファイル名}}
\end{center}
\caption{図の説明}
\label{ラベル}
\end{figure*}
```

実際には図 2 のようになります。

3.3 表の挿入

表を挿入したい場合、table 環境を用いて例えば以下のようにします。

```
\begin{table}[tbh]
\begin{center}
\begin{tabular}{l|l}
\hline
```

サンプル図

図 2 1 段組の図

```
説明 0 & 説明 1 \\ \hline
内容 0,0 & 内容 0,1 \\
内容 1,0 & 内容 1,1 \\ \hline
\end{tabular}
\end{center}
\caption{表の説明}
\label{ラベル 3}
\end{table}
```

この際、横罫線 `\hline` は引きすぎないようにします。実際には表 1 のようになります。

説明 0	説明 1
内容 0,0	内容 0,1
内容 1,0	内容 1,1

表 1 2 段組の表

もし、1 段組で図を挿入したい場合は、`figure*` 環境を用いて例えば以下のようにします。

```
\begin{table*}[tbh]
\begin{center}
\begin{tabular}{l|l|l}
\hline
説明 0 & 説明 1 & 説明 2 \\ \hline
内容 0,0 & 内容 0,1 & 内容 0,2 \\
内容 1,0 & 内容 1,1 & 内容 1,2 \\ \hline
\end{tabular}
\end{center}
\caption{表の説明}
```

```
\label{ラベル}
\end{table*}
```

実際には表 2 のようになります。

3.4 参考文献

参考文献を表す方法として、`thebibliography` 環境 もしくは `BibTeX` を用います。

`BibTeX` を用いる場合は、参考文献が記述されている `bib` ファイルを用意します。そして、`\end{document}` の直前に以下のような記述を行います。

```
\bibliographystyle{junsrt}
\bibliography{bib ファイル名}
```

命令 `\bibliographystyle` の所に参考文献が並びます。ここで、本文で参照した順に並べるために、`junsrt.bst` という文献スタイルファイルを用います。実例は、本文の最後の参考文献です。

参考文献

- [1] 奥村晴彦. [改訂版] \LaTeX 2 ϵ 美文書作成入門. 技術評論社, 2000.
- [2] 中島浩, 斉藤康己. \LaTeX による論文作成のガイド (第 3 版). <http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/shippitsu/wabun.html>.

説明 0	説明 1	説明 2
内容 0,0	内容 0,1	内容 0,2
内容 1,0	内容 1,1	内容 1,2

表 2 1 段組の表